

財団法人泉佐野市文化振興財団設立趣意書

泉佐野市は、波穏やかな大阪湾や和泉の連山など豊かな自然に恵まれ、日本三名塔のひとつに数えられている国宝・慈眼院多宝塔や国史跡・日根荘遺跡を有するなど、長い歴史に育まれた文化が息づくまちです。

この地に、平成6年9月、わが国発の本格的24時間空港である関西国際空港が開港し、人・モノ・情報・文化の交流が急激に活発化してきました。泉佐野市では、この空港のインパクトを積極的に活用し、世界に開かれた先進のまちを目指して、都市基盤の整備をはじめ本市の歴史や文化、自然環境を生かしたまちづくりを推進しているところです。

一方、生活水準の向上、高齢化の進展、余暇時間の増大などライフスタイルの変化を背景に、市民の意識は「もの」の豊かさから「こころ」の豊かさの追求へと変化しています。このような市民の価値観の変化を反映し、より質の高い芸術文化の鑑賞や創造活動の場が求められています。平成8年春に完成を予定している泉佐野市立文化会館はその役割を担う施設として、多くの市民の期待を集めています。

この文化会館を拠点に、市民自らが参加し、創造的な文化活動を行うには、管理面を重視した会館運営ではなく柔軟で効率的な運営体制の確立が必要です。

そこで、広く専門的な知識や技術を有する有能な人材の参加を求め、市民の文化活動に積極的に寄与するとともに、自主・受託文化事業を展開し、市民文化の振興と地域文化の発展を図ることを目的として、財団法人泉佐野市文化振興財団を設立するものです。